

どこが変わった？



感染症ガイド

コロナ禍が続く中、行動制限も緩和され、気がゆるんできたという方も少なくないはず。しかし基本的な対策の徹底により、インフルエンザの感染が激減したのも事実です。正しい対策法を見直しつつ、これまでと変わった点もしっかりおさえて、感染症対策を継続しましょう。

ココが変わった！

新型コロナはオミクロン株が主流に！

感染力	アップ ↑↑	主な症状	のどの痛み、せき、頭痛、高熱など
重症化リスク	ダウン ↓↓	後遺症例	せき、倦怠感、脱毛、味覚・嗅覚障害など

発熱などの症状が出たら…

- 持病がある方、子ども(小学生以下)、65歳以上の方、妊婦、症状が重いと感じる方

すみやかにかかりつけ医や
発熱外来を受診

●左記以外

新型コロナ検査キットで自己検査し、結果に応じて対応

- 陽性 自治体の健康フォローアップセンターに登録のうえ、自宅療養
- 陰性 オンライン診療やかかりつけ医等を受診し、指示に従う

変わらず警戒！

今年はインフルエンザが流行！？

ここ2年間のインフルエンザ感染者数の激減により集団免疫が低下していると考えられ、今冬は流行の可能性が大きいと指摘されています。例年通りワクチン接種等の感染対策を行ってください。



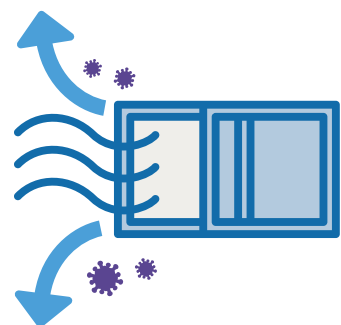
とくにワクチン接種をおすすめしたい方

- 65歳以上の高齢者・心臓や肺に慢性的持病がある方
- 妊娠中の方
- 5歳未満のお子さま
- 高度の肥満の方

変わらず継続！

換気でエアロゾル×飛沫感染予防！

エアコン使用中も換気を徹底しましょう。



空気中に浮遊している病原体を含んだ
小さな飛沫を換気で外に追い出そう！

ココが変わった！

マスク着用は場面に応じて！

他人と十分な距離が取れるとき→**外してOK**
近距離での会話、満員電車等の人混み→**マスク着用**

※ただし施設ごとの指示に従いましょう。

ココが変わった！

インフルとコロナ、ワクチン同時接種OK！

新型コロナのワクチン*とインフルエンザのワクチンの同時接種が可能になりました。ただし、その他のワクチンは2週間空けて接種してください。

*3回目以降の新型コロナワクチン接種については、オミクロン株対応ワクチンの接種が推奨されています。



※ 情報は日々更新されていますので、最新情報をご確認ください。

けんぽお知らせ板